

令和5年度 第1回（第6期第6回）新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和5年6月28日（水）午後6時～8時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委員：植田、遠山、長山、笠井、則竹、富田、大神田、伊藤、横倉、松尾、各委員
事務局：鯨井文化観光産業部長、市田産業振興課長、吉田産業振興係長、前田産業振興主査、
山本主任、阿部主事

【欠席者】 豊岡委員、江曾委員、友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

(1) 第7期産業振興会議 委員選定方針について

資料1に基づき、事務局より説明した。

(2) 民間提案制度について

資料2に基づき、事務局より説明した。

(2) 新宿区産業振興会議 第6期報告書（案）について

- ・資料3及び参考資料に基づき、事務局より説明し、各委員から意見を求めた。
- ・各委員からの主な発言要旨は以下のとおり。

3 主な発言要旨（新宿区産業振興会議第6期報告書（案）について）

- ・第1章「2. 第6期産業振興会議での検討事項」二段落目の「報告書作成時点」の記載について、「第6期の報告書作成時点」とした方がよい。
- ・第2章「1. 区内中小企業の業況等の変化（2）売上額・収益。資金繰り・人手各種D I」について、それぞれの定義を記載した方がよい。
- ・第2章「2. 物価高騰の影響について（3）販売価格への転嫁」について、「転嫁できている」と「転嫁できていない」状況が二分化していると記載があるが、グラフ上で20～50%転嫁できている事業者を「転嫁できている」に含めることは中小企業にとって適切な表現か疑問であり、表現を変えたほうがよい。
- ・第2章「3. 資金繰りの状況について（1）新たに融資を受けている理由」について、「コロナ禍から新たに融資を受けている理由」とした方がよい。
- ・第3章「3. 経済環境の変化による経営面の課題（3）人手不足への対応」の人材確保の記載について、若者の離職が問題とされていることから「人材確保と定着」にした方がよい。
- ・第4章リード文で「地域特性」の文言が唐突に出てくるが、いままでの会議で新宿区の特徴は多様性であると議論していたこともあり、まず新宿区の地域特性を定義づけた方がよい。
- ・第4章「1. 中小企業が成長・発展し続けるまち（3）創業支援の強化」の最後に「創業支援施策を強化することが重要です。」とあるが、新宿で育った人たちの成功事例を発信するような記載をどこかに入れた方

がよい。

- ・創業支援強化の理由を膨らませた方がよい。もっと積極的に創業を捉え、新しい創業者がいることによって区の地域経済や商店街も含めた地域社会の活性化につながる他、新しいビジネスが生まれてくることが「新宿らしさ」を強めることになるため、区で創業をサポートしていくことは大事といった内容を入れるのはどうか。
- ・産業振興プランの7つの施策の方向性を照らし合わせたときに、発展的な事業承継の促進について盛り込まれていないと感じる。今ある企業の経営力を高めないと後継者もいなくなってしまうため、第4章「1. 中小企業が成長・発展し続けるまち（4）経営力の強化」など、どこかに記載した方がよい。
- ・「〇〇の強化」「〇〇の充実」「〇〇の推進」「〇〇の発展」といった表現の記載について、それぞれニュアンスが異なるため、確認した方がよい。
- ・第4章「1. 中小企業が成長・発展し続けるまち（1）金融機関との連携強化」において、中小企業支援ネットワークの目的等を具体的に追加した方がよい。
- ・第4章「1. 中小企業が成長・発展し続けるまち（2）相談支援の充実」に記載されている「課題設定型の経営相談」がわかりづらいため、もう少し説明があった方がよい。
- ・第4章「2. 地域特性を活かし付加価値を生み出し続けるまち（4）商店街のさらなる活性化」について、さらなる活性化そのものが商店街の現状からすると酷な話であり、それぞれの個店がどのように対応していくか戦略を明確にしない限り発展は難しいため、その方向性を記載した方がよい。
- ・従業員が働き甲斐や生き甲斐を持つことがにぎわいであり、新宿は他に比べて人が育つ環境があって面白い施策も展開しているようなことを伝える短めの一言があってもよいのでは。

4 次回日程について（予定）

第7期第1回産業振興会議

日 時：令和5年9月～10月（予定）

会 場：BIZ新宿

5 閉 会